

彙報 平成九年一月～三月

別懇談会がもたれました。

狭間芳樹

宗教学会

藤島直

宗教学会報

池上哲司

宗教学会報

木村素衛

宗教学会報

西川友和

宗教学会報

大西正倫

宗教学会報

國嶋貴美子

宗教学会報

陰富爛

宗教学会報

元榮

宗教学会報

金元榮

宗教学会報

高市忠穂

宗教学会報

（学内書店にて）

◇指定研究 国際仏教研究班

二月十四日（金）午後五時

於 第五会議室

【国際的な視野からみた近代真宗学、

または教学者の意義】

Jan Van Bragt 氏（南山大学名誉教授）

◇一般研究

○荒井研究班

一月十八日（土）午後一時～五時

於 第四研究室分室1

【近世文人の書簡について】

水田紀久氏（本学非常勤講師）

○仏教学会

○仏教学会

○仏教学会

◇仏教学会卒業論文梗概発表会・

一月十四日（火）午後四時十分

於 一三一二教室

【ヤングと鍊金術】

高市忠穂

【宗教受容にみられる日本文化の思想

（学内書店にて）

◇『宗教学会報』第九号発行

（一九九七年三月十八日）

『目次』

イスラームについて 小田淑子

上田閑照

鈴木大拙と西田幾多郎

木村素衛における表現的世界の構

造

【イデアのニクの似像】

【プラトン『國家』篇、線分の比喩

について】

西川友和

【真理と虚偽の文化】

アルノ・バルツツィ

【経済開発の中で】

スリチャヤイ・ワンケーオ氏

（チュラーロンコーン大学准教授）

【大谷大学哲学会】

○談話会

二月十七日（月）午後1時

於 多目的ホール

【講院を中心とした僧伽教育】

金元榮

【ヨーロッパの道徳批判についての若干

の考察】

【東学のハンブルニン（天）思想につ

いて】

*購入希望者には一部五百円で頒布中

（学内書店にて）

国 文 学 会

◇『文藝論叢』第四十八号

(平成九年三月十八日発行)

目 次 大谷大學文藝學會刊

「徙される霊靈神」

「感靈錄」第一縁

片岡 了 「芭蕉の京宿」

「こと葉の自由」

一樋口一葉「通俗書簡文」の生成

荒井とみよ 「詩集『測量船』の散文詩(下)」

喜多川恒男 「梁山」の歩み(中)

李 青 ◇修士論文予備発表

三月十七日(月)午後二時~

於 第四研究室分室1

「井上靖研究」

修士課程一回生 鈴木慎良

「中世文学史研究」

修士課程一回生 竹本未礼

中國文學會

◇中国文学会学術公開講演会

一月十四日(火)午後二時半~

於 尋源講堂

「宗教仁と日本

ー近代を發現した革命家ー」

立命館大学教授 松本英紀氏

英 文 学 会

◇ハーン文学研究旅行

三月十一日(火)より二泊三日で松

江・出雲方面へ。教員三名、特別研修員一名、学生十数名が参加。

国際文化学科

第一期生の卒業を迎えるにあたり、卒業生と国際文化関係教員の懇談会を行った。学生、教員をあわせ約百名が参加し、楽しい一時を過ごした。

◇『仏教研究紀要』第十九号発行(三月)

短期 仏教科

◇『短仏通信』三・四号発行

ノーマン・ワデル先生の引率で、アメリカ・セント・マアリーズ大学での語学研修が四週間にわたり行われ、十名の学生が参加した。ホームステイをしながら、午前中は授業、午後はワークショップを行い、充実した研修であった。

◇国際文化学科卒業生と教員の懇談会

三月十七日(月)午前十一時~